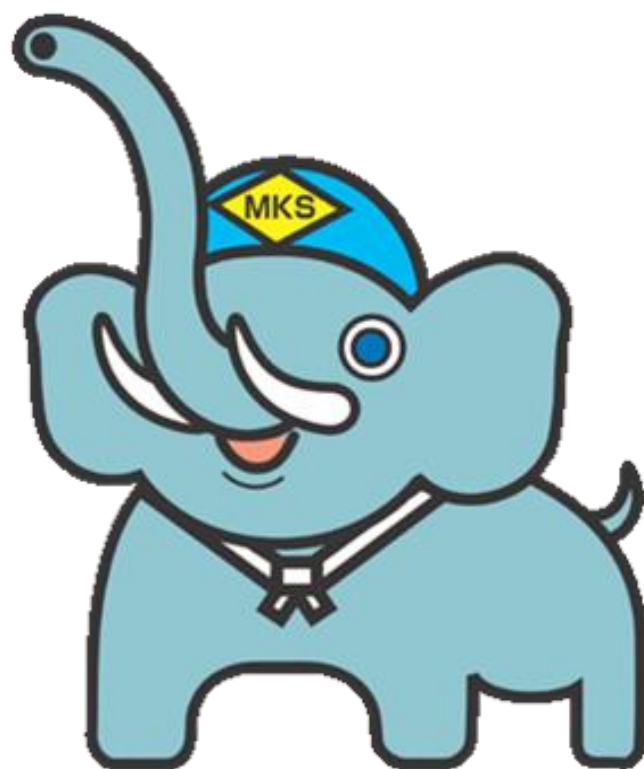


エコアクション21 2017年度 環境活動レポート

対象期間：2016年10月1日～2017年9月30日



発行：2017年11月9日



目 次

	ページ
[1] 環境方針	(2)
[2] 事業活動の概要 事業活動と環境活動の取組みの流れ 対象事業所(全社)	(3)
[3] 環境目標と主要な環境活動計画および全社達成率	(4)
[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価	
1. 管理部門	(5)
2. 厚板営業部門	(6)
3. 生産部門	(7)
4. 倉庫部門	(8)
5. 薄板営業部門	(9)
[5] 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	(10)
[6] 環境目標項目別の評価と次年度の取組内容 今後の環境目標	(10)
[7] 代表者による総評	(10)

[1] 環境方針

<基本理念>

当社の事業活動が地域および次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動する。

<基本方針>

この理念のもと、当社が行う各種コイルの切断加工並びに販売および倉庫業に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を全組織で推進する。

1. 事業活動の全領域で、省資源・省エネルギー・資源リサイクル・公害防止に配慮した活動を行い、グリーン購入にも努める。
2. 環境経営システムと環境保全の改善を継続的に推進する。
3. 環境関連の法規制、条例および当社が賛同するその他の事項を遵守する。
4. 次の項目を環境保全の重要項目として目標を設定し、取組み結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組む。
 - ① 省資源、省エネルギーの推進(CO₂排出抑制)
 - ② 廃棄物の削減
 - ③ 水使用量の削減

平成20年3月3日制定

平成23年2月1日改定

平成27年2月6日改定



村山鋼材株式会社

代表取締役社長 村山 和雄

[2] 事業活動の概要

事業所名	村山鋼材株式会社
代表者	村山 和雄(代表取締役社長)
所在地	〒279-0012 千葉県浦安市入船1-5-2 NBF新浦安タワー 15F
環境管理責任者	小林 伸治(薄板営業部長)
連絡先	EMS21事務局 刈屋 千江子(総務部 課長代理) TEL: 047-305-6112 FAX: 047-305-8900 E-mail: soumu@mks-gr.co.jp
従業員数	全社: 110名
売上高	119億円(平成29年9月30日:全社第65期)
事業内容	コイルの切断加工並びに販売、営業倉庫業、太陽光発電事業 営業倉庫業許可番号: 開運倉第225号

事業活動と環境活動の取組みの流れ

1942年 3月	本社創業(東京都大田区森ヶ崎)
1952年 10月	村山鋼材シャーリング(株)設立(村山鋼材(株)の前身)
1972年 6月	東京第二工場開設(東京工場)
1974年 7月	東京工場のジャンボ・カッティング・ライン(JCL-1)操業開始
2007年 12月	環境経営システム(EA21)講習会参加
2008年 1月	弊社はEA21ガイドライン2004年版による活動をEMS21と称し、 環境経営システム(EMS21)の組織を構築(本社及び東京工場)
2009年 1月	エコアクション21 認証登録を取得
2012年 6月	JCL-1を浦安工場へ移設し、東京工場を閉鎖
2013年 2月	本社事務所を浦安へ移転
2013年 10月	茨城県牛久市へ太陽光発電所を開設

対象事業所(全社)

管理部門	〒279-0012 千葉県浦安市入船1-5-2 NBF新浦安タワー 15F	TEL: 047-305-8008
厚板営業部門	〒279-0024 千葉県浦安市港47	TEL: 047-350-1171
北関東営業所	〒300-1222 茨城県牛久市南1-6-4	TEL: 029-886-3748
生産部門	〒279-0024 千葉県浦安市港47	TEL: 047-350-0869
倉庫部門		
浦安倉庫	〒279-0025 千葉県浦安市鉄鋼通り2-6-13	TEL: 047-380-1171
船橋倉庫	〒273-0016 千葉県船橋市潮見町20-1	TEL: 047-495-1171
牛久太陽光発電所	〒300-1283 茨城県牛久市奥原町1650-77	
薄板営業部門	〒144-0033 東京都大田区東糀谷3-14-10	TEL: 03-3743-5161
西東京営業所	〒208-0035 東京都武蔵村山市中原1-8-1	TEL: 042-520-6761
神奈川営業所	〒210-0864 神奈川県川崎市川崎区池上町1-19	TEL: 044-270-2227

[3] 環境目標と主要な環境活動計画および全社達成率

管理部門、厚板営業部門、生産部門、倉庫部門、薄板営業部門の事業計画に於ける環境への負荷を低減するために、従業員一同が取組んでいる環境目標と主要な環境活動内容は、以下の通りである。

次年度以降についても、原則として同様の内容で活動に取り組む。

環境目標項目	単位	2017年度（65期）			判定
		目標値	実績値	達成率[%]	
省資源の推進					
コピー用紙購入量の削減	冊	851	820	104	○
グリーン購入の推進	%				/
品目／品目中	品目	—	82/226	—	
水資源の削減	m ³ /年	1,827	2,094	85	×
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、産廃)					
省エネルギー					
電気使用量の削減(生産部以外)	kWh/月	27,276	31,685	84	×
電力原単位の向上(生産部)	kWh/t	7.73	7.33	105	○
社有車の燃費向上					
ガソリン	km/ℓ	15.05	14.96	99	×
軽油	km/ℓ	5.93	6.02	102	○
廃棄物排出量の削減					
一般廃棄物	kg	2,137	2,139	100	○
産業廃棄物	kg	4,003	1,510	162	○
二酸化炭素排出量					
	kg-CO ₂ /年	—	1,039,769	—	/
レーザー鋼板用の加工技術の推進					
	—	—	—	—	継続中

※東京電力エナジーパートナー(株)の二酸化炭素の実排出係数は、0.500 kg-CO₂/kWh。
(2016.12.27公表の環境省報道発表資料より)

※2017年度の全社二酸化炭素総排出量は、1,039,769 kg-CO₂。

※2013年度より、全事業所が対象。

※グリーン購入と二酸化炭素排出量については、目標値を策定しません。

[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価(1)

△:目標過達 [カッコ内の数字は、目標値-実績値]

▲:目標未達

事業年度:前年10月~当年9月

1. 管理部門

環境目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2017年 取組結果	達成:○ 未達:×
省資源の推進(節水他)				
コピー用紙購入量削減 (1冊:A4用紙500枚)	冊	目標値	279	○
		実績値	240 (△ 39)	
グリーン購入の推進	%	実績値	12品目 / 19品目中	
[評 価]	<p>《達成率》・コピー: 114%</p> <p>・コピー用紙購入量削減 : 前期の実績に基づいて目標値を見直した結果、裏紙使用の定着化とFaxを使用せず、PDFをメールに添付して送信することにより、ペーパーレス化を図った。その効果があり、目標を達成できた。</p> <p>・グリーン購入の推進 : 目標値は策定しないが、引き続き対象商品から購入するようにする。</p>			
省エネルギー				
電気使用量の削減	kWh/月	目標値	1,365	○
		実績値	1,350 (△ 15)	
[評 価]	<p>《達成率》・電気: 101%</p> <p>・電気使用量の削減 : 前期の実績に基づいて目標値を見直し、さらに削減率も0.1%ずつにした結果、目標達成となった。日々の節電意識が定着してきたことが伺える。</p>			
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、一般廃棄物)				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	558	○
		実績値	365 (2.0 kg 換算 : △ 193) 270 (1.2 kg 換算 : △ 288)	
二酸化炭素	kg-CO ₂	実績値	8,099	
[評 価]	<p>《達成率》・一般廃棄物: 152%</p> <p>・一般廃棄物の削減 : 前期までは1袋2.0 kgとして換算していたが、再計量して平均をとり、今期から1袋1.2 kgに変更した。以前の換算では365 kgになる。 参考として、溶解処理に回せる紙類を分別し、335 kg削減できた。</p> <p>・二酸化炭素排出量の削減 : 前期と比較して、2%減となった。 管理部門の二酸化炭素の排出量は、購入電力のみであるが、節電できている。</p>			

[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価(2)

△:目標過達 [カッコ内の数字は、目標値-実績値]

2. 厚板営業部門(北関東営業所を含む)

▲:目標未達

事業年度:前年10月~当年9月

環境目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2017年 取組結果	達成:○ 未達:×
省資源の推進(節水他)				
コピー用紙購入量削減 (1冊:A4用紙500枚)	冊	目標値	299	×
		実績値	330 (▲ 31)	
グリーン購入の推進	%	実績値	35品目/108品目中	
[評 価]	<p>《達成率》・コピー: 90%</p> <p>・コピー用紙購入量削減 : 裏紙使用率を向上させているが、仕事量と人員の増加に伴い、予想以上に紙の使用量が増加した。今一度初心に戻り、節約を心掛ける。</p> <p>・グリーン購入の推進 : 引き続き物品購入の際グリーン購入を心掛け、経費を抑えていくことを優先する。</p>			
省エネルギー				
電気使用量の削減	kWh/月	目標値	2,622	×
		実績値	2,812 (▲ 190)	
社有車の燃費向上	km/l	目標値	13.96	○
		実績値	14.53 (△ 0.57)	
[評 価]	<p>《達成率》・電気: 93%、・燃費: 104%</p> <p>・電気使用量の削減 : 目標値を見直したが、人員の増加や8月に事務所を拡張工事により使用量増化同時に、照明器具をLED更新、エアコンの洗浄・点検を行ったが、効果の把握が出来ていない。事務所外壁に遮熱塗料も塗ったので、今後効果を確認したい。 なお、北関東営業所は、目標可達。</p> <p>・社有車の燃費向上 : 今後もエコドライブ意識の醸成、定着化を図り、更なる燃費向上を目指す。</p>			
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、一般廃棄物)				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	245	×
		実績値	260 (▲ 15)	
二酸化炭素	kg-CO ₂	実績値	56,471	
[評 価]	<p>《達成率》・一般廃棄物: 94%</p> <p>・一般廃棄物の削減 : 事務所の改装に伴い、整理・清掃によりゴミ排出量が増化。 ゴミ箱の変更により容積が変化しているので実質して比較してみる必要がある。</p> <p>・二酸化炭素排出量の削減 : 前期比13.5%減。ガソリンの使用量が20%減ったのが大きく寄与している。 更なるエコドライブ意識の定着に期待する。</p>			

[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価(3)

△:目標過達 [カッコ内の数字は、目標値－実績値]

3. 生産部門

▲:目標未達

事業年度:前年10月～当年9月

環境目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2017年 取組結果	達成:○ 未達:×
省資源の推進(節水)				
生活用水の削減	m ³	目標値	946	×
		実績値	1,073 (▲ 127)	
[評 価]	<p>《達成率》・水: 87%</p> <p>・生活用水の削減 生産量の増加に伴い、残業が増えて稼働時間が増えた。また、シャワーを設置したので、水の使用量が上がった。健康管理のため、こまめな手洗い・うがいを推進中である。8月に厚板営業部事務所の屋根、外壁の工事で水を大量に使用したため、目標未達だった。</p> <p>[生活用水(水道)については、同一敷地内の厚板営業部門が単独で管理できないため、生産部門に含む。また、北関東営業所分も同様とする。]</p>			
省エネルギー				
電力原単位向上	kWh/t	目標値	7.73	○
		実績値	7.33 (△ 0.4)	
[評 価]	<p>《達成率》・電力原単位: 105%</p> <p>・電力原単位向上 生産量の増加に伴い、残業時間が増えたことにより使用量が増えたが、電力原単位で見ると過達。朝6時から入出荷作業を開始し、クレーンの使用電力は増加したが、出荷要因でのクレーン待ちの頻度が低下してラインの稼働能率が上がった。一部新造ハッカーの運用を開始し、出荷T/Hの向上も図っており今後出荷能率の向上にも期待できる。</p>			
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、産廃)				
産業廃棄物の削減	kg	目標値	4,003	○
		実績値	1,510 (△ 2,493)	
二酸化炭素	kg-CO ₂	実績値	722,051	
[評 価]	<p>《達成率》・産廃: 162%</p> <p>・産業廃棄物の削減 前期に引き続き、産廃は大きな排出がなかったことにより、例年並みとなった。引き続き排出量の管理に努力する。</p> <p>・二酸化炭素の排出量の削減 前期と比較して6%増。生産加工量の増加に伴い、ラインとクレーンの電気使用量が増えたため、排出量増加</p>			

[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価(4)

△:目標過達 [カッコ内の数字は、目標値－実績値]

4. 倉庫部門(浦安倉庫および船橋倉庫)

▲:目標未達

事業年度:前年10月～当年9月

環境目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2017年 取組結果	達成:○ 未達:×
省資源の推進(節水他)				
コピー用紙購入量削減 (1冊:A4用紙500枚)	冊	目標値	55	×
		実績値	80 (▲ 25)	
グリーン購入の推進	%	実績値	8品目/12品目中	/
生活用水の削減	m ³	目標値	210	×
		実績値	219 (▲ 9)	
[評 価]	<p>《達成率》・コピー: 55%、・水: 96%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙購入量削減 : 前期大幅に紙の使用量が減り、目標値も減らしたが、今期に入り仕事量の増加に伴って、若干使用量が増加してしまった。初心に戻り、節約に努める。 ・グリーン購入の推進 : 目標値は策定しないが、今後も必要なものだけを対象商品から選んで購入する。 ・生活用水の削減 : 仕事量の増加に伴い、取扱量が増加、トラック・トレーラーの運転手の出入りも増え目標は達成できなかった。今後も節水を促していく。 			
省エネルギー				
電気使用量の削減	kWh/月	目標値	19,669	×
		実績値	23,870 (▲ 4,201)	
[評 価]	<p>《達成率》・電気: 79%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量の削減 : 仕事量の増加に伴い、クレーン電源・天井灯等、照明設備の使用電力が増加した。引き続き不要な照明等の消灯と作業集約により、使用量削減を心掛けていく。 			
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、一般廃棄物)				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	925	×
		実績値	1,062 (▲ 137)	
二酸化炭素	kg-CO ₂	実績値	143,595	/
[評 価]	<p>《達成率》・一般廃棄物: 85%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物の削減 : 前期の実績に基づいて目標値を見直して減らしたが、仕事量増加に伴い、多少増加してしまった。今期の実績を基に、比較しながら増やさない努力をしていく。 ・二酸化炭素排出量の削減 : 前期と比較して44%増えた。理由は、仕事量増加による電力使用量が46%も増加したため。CO₂の排出量と電力使用量は、連動している。 			

[4] 環境目標と環境活動の取組結果(実績)の評価(5)

5. 薄板営業部門

(西東京営業所および神奈川営業所を含む)

△:目標過達 [カッコ内の数字は、目標値－実績値]

▲:目標未達

事業年度:前年10月～当年9月

環境目標項目 (評価・コメント)	単位	摘要	2017年 取組結果	達成:○ 未達:×
省資源の推進(節水他)				
コピー用紙購入量削減 (1冊:A4用紙500枚)	冊	目標値	218	○
		実績値	170 (△ 48)	
グリーン購入の推進	%	実績値	27品目 / 87品目中	/
生活用水の削減	m ³	目標値	671	×
		実績値	802 (▲ 131)	
[評 価]		<p>《達成率》・コピー: 122%、水: 80%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙購入量削減 : 使用済みの裏紙だけではなく、読後の黄色い新聞も裏紙として使用し続けた結果、前期よりも購入量が減った。今後も定着させていきたい。 ・グリーン購入の推進 : 不必要な物品購入を控え、購入する際は対象商品を選ぶようにする。 ・生活用水の削減 : [薄板寮を含む] 薄板事務所(寮含む)、生活用水が増加した。 健康管理のために水の使用はしかたないが、引き続き節水を促していく。 なお、西東京(営)と神奈川(営)は、目標可達。 		
省エネルギー				
電気使用量の削減	kWh/月	目標値	3,620	×
		実績値	3,653 (▲ 33)	
社有車の燃費向上	km/ℓ	目標値	ガソリン: 16.13、軽油: 5.93	ガソリン × 軽油 ○
		実績値	ガソリン: 15.97 (▲ 0.16)、軽油: 6.02 (△ 0.09)	
[評 価]		<p>《達成率》・電気: 99%、・燃費: ガソリン 99%、軽油 102%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量の削減 : 西東京(営)で、多少電気使用量が増加し未達だが、薄板と神奈川(営)はほぼ目標通りの実績であった。今後もこれを基に節電に向け努力していく。 ・社有車の燃費向上 : 西東京(営)のトラック2台を更新したことにより、軽油の燃費が向上した。 ガソリンについては、今年1月に1台、ハイブリッド車が厚板営業部に移管となり、平均燃費は微減したが、ほぼ目標通りの実績となった。引き続きエコドライブを推進し、古い車種の更新時には、ハイブリット車に切り替えていきたい。 		
二酸化炭素排出量の削減(省エネルギー、一般廃棄物)				
一般廃棄物の削減	kg	目標値	409	×
		実績値	547 (▲ 138)	
二酸化炭素	kg-CO ₂	実績値	109,553	/
[評 価]		<p>《達成率》・一般廃棄物: 66%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物の削減 : 前期大幅に目標未達成になったことを踏まえて、実態を調査、可燃ゴミを袋が満杯になってから排出するように指導した結果、かなりの重量を抑えられた。 ・二酸化炭素排出量の削減 : 前期と比較して24%減。理由は、CO₂の排出量に一番影響している西東京(営)と神奈川(営)での軽油の使用量が、11,300リットルも減ったからと思われる。 		

[5] 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の2017年度に於ける環境関連の適用法令について、遵守されていることを確認した。尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間なし。

[6] 環境目標項目別の評価と次年度の取組内容

水資源の削減について、生活用水が人員と仕事量の増加に伴って増えることはやむを得ないと考えていたが、予想を上回る結果となった。今期の実績を踏まえて、更なる工夫と努力が必要である。

ガソリン車については、エコドライブ10か条を遵守すべく、推進活動を継続し、燃費の向上につなげたい。また、軽油車については、2台入れ替えた効果が如実に見られ目標達成している。

電力使用量については、倉庫部門で予想以上の仕事が入り、それに伴うクレーンの使用が増えたことが大きな悪化要因である。生産部門では、残業も増えたが加工量が伸びていることで、電力原単位が、10期連続で目標を達成している。引き続き改善努力をしながら、エコ活動に寄与していきたい。

廃棄物は、目標可達。グリーン購入は今まで通り、対象商品から選ぶようにする。仕事量の増加に伴い購入電力が増えたが、化石燃料の消費量を大幅に削減したため、CO₂排出量は、微増で収まった。レーザー用鋼板については、今期クレーム件数ゼロという結果から、ある程度お客様に評価していただいていると認識している。

今後の環境目標

環境目標項目は、部門により基準とする年度は異なるが、2018年度の目標値は、以下の通りである。2019年度以降は、項目により年0.1～1%ずつ削減あるいはアップしていく。

管理目標項目		年度	2018	2019	2020
水		m ³	1,811	1,789	1,771
廃棄物	一般	kg	2,127	2,116	2,106
	産業	kg	3,960	3,917	3,874
電気(生産部以外)		kWh	27,014	26,754	26,493
燃費	ガソリン	km/ℓ	15.19	15.33	15.48
	軽油		5.99	6.05	6.11
グリーン購入		—	実績値で管理		
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂			

[7] 代表者による総評

EA21の活動も10年目に入り、この活動を通じて企業の社会的責任を果たすことが出来ていると言えます。生産量の向上や経費の削減が今期の成果につながり、業績の向上に大きく貢献していること、さらに、社員一人ひとりの意識レベルを向上させることにも大きく寄与しており、企業としてより良い方向に向かっていると感じられます。今後も更なる進化に期待します。

また、既に発表している66期の事業年度計画の基本方針に記載の通り、何事も現状がベストではなく、問題が生じたら「なぜ起きるのか」ではなく、「どうすれば解決できるのか」を一人ひとりが知恵を出し合い、「自らが考え動く文化」をこれからも醸成していきましょう。

前期、目標を達成することができなかった、水、ガソリン、電気についても、コピー用紙の削減や軽油車の燃費、廃棄物の削減のように、努力を重ね、目標達成に向けて、全社で取り組みながら一つひとつ課題を解決していきましょう。

村山鋼材株式会社
代表取締役社長 村山 和雄